

12月に入って急に寒さが厳しくなり、体が縮こまる日々もありましたが、そんな寒さも吹きとばし、元気いっぱいの子どもたちです。

今月もまた、自分達で「お茶を点てる」経験をさせてもらいました。2回目というだけあって、すごく様になっていて、上手に点てることが出来ていましたよ。お菓子も飯田先生が素敵なものを選んでくださり、子どもたちも見た瞬間、目をキラキラさせていましたよ。

又、世界にたった一つの『MY お茶碗』も作っています。出来上がりが楽しみです！

## \*12月のお菓子\*



・ひいらぎ  
・クリスマス

## \*12月のお花\*



・小菊



おじぎの仕方



数字の『1』を  
意識して…



お茶碗の回し方



ゴクゴクゴク…



飲み口は  
手で拭いて  
清めます。

## お茶碗について

茶道の道具のなかでも大切なお茶を飲むための器です。

らくやき はぎやき からつやき きょうやき  
楽焼や萩焼、唐津焼、京焼など各地の焼き物があります。ぞう組さんが造っているのは奈良のあかはだやき赤膚焼きです。

焼きものには陶器と磁器があり、造り方で違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は低い温度でゆっくりと焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞうさんのお茶碗は陶器で扱いに気をつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切に丁寧に物を使う大事さを学習するよい機会でもありますね。